



ときめきだより

社会福祉法人 みなと寮

認知症対応型共同生活介護 グループホーム ときめき

大阪市港区八幡屋4-8-1

TEL：06-6571-8333

FAX：06-6571-2668

☆母の日

5月10日（土）14：00～15：00

母の日のレクリエーションとして、日頃の感謝とねぎらいを込め、皆さまと一緒にフルーチェ作りを行いました。喉越しが良く食べやすかったこともあり、ご入居者の皆さまに大変喜んでいただくことができました。



☆ビビンバレクリエーション

5月29日（金） 11：30～13：00

入居者の皆さまと職員の共同作業で、「巨大ビビンバ作り」に挑戦しました。「混ぜる」「炒める」といった調理の手順を、一緒に行うことで、フロア内は自然と笑顔と会話で溢れ、仕上げの盛り付けにもこだわりました。ジュージューという音や香ばしい香りに五感を刺激されながら、出来立ての美味しさを全員でただ食べるだけでなく、目で見ても楽しめ、皆さまにワクワクする「ときめき」と、お腹も心も満たされる深い満足感を感じていただけるひとときとなりました。





☆インスタント麺

6月5日（金）11：30～13：00

防災の備蓄品の入れ替えを兼ねて、インスタント麺と餃子を楽しむ昼食レクリエーションを開催しました。「たまには新鮮でいいね！」と、皆さまに大好評で、あっという間に完食されていました。賑やかな会話も弾み、新鮮で楽しいお昼のひとときとなりました。



☆ふれあい喫茶

6月14日（日）10：30～11：30

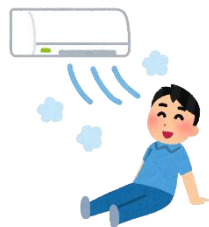
入居者様と近所の八幡屋会館で行われた「ふれあい喫茶」に参加しました。会場では地域の方々から温かく声を掛けられ、笑顔で会話を楽しまれていました。外に出て地域の方と触れ合うことで、普段の施設生活では見られない生き生きとした表情を垣間見ることができました。これからも地域との絆を深める交流を大切にしていきたいと思います。



☆エアコンの入れ替え

7月1日（水）10：00～12：00

皆さまに快適にお過ごしいただくため、館内の老朽化したエアコンを新しいものに交換いたしました。温度や湿度の管理がよりスムーズになり、きれいな空気の中で心地よくお過ごしいただけるようになっております。



☆マンドリン等演奏会

7月10日（金）14：00～15：00

恒例になっているボランティアの方による演奏会に参加しました。「高校三年生」「瀬戸の花嫁」や童謡を演奏され、参加された入居者の方は、時折口ずさんだり、手拍子されたりと聞き入っておられました。



☆カレー食堂

7月12日（日）11：00～12：00

入居者様と近所の八幡屋会館で行われた「カレー食堂」に参加しました。会場は地域の方々と賑わっており、知人と笑顔で挨拶をされるなど、楽しそうなお様子でした。施設内では見られない活き活きとした表情に触れることができ、地域交流の大切さを再確認する良い機会となりました。



☆7月14日（火）12：00～12：10

港区の港住吉神社より、立派なお神輿が「ときめき」にやってきました。猛暑の中にもかかわらず目の前まで担ぎ込まれたお神輿は迫力満点で、入居者の皆さまも大興奮され威勢の良い掛け声とともに、元気をたくさんいただいたひとときとなりました。



編集後記

今後も厳しい暑さが続くことが予想されるため、当面の間は無理のない範囲で、施設内・外でのレクリエーションを行い、入居者の皆様に楽しく過ごしていただけるよう努めております。同時に、適度な水分補給と快適な室温管理を徹底し、体調管理を行ってまいります。

これからもご入居者様の想いを尊重し、その人らしく豊かな生活を送っていただけるよう、スタッフ一同取り組んでまいります。

尾崎

この町で

みなと笑顔で

ときめきたい



認知症対応型共同生活介護ときめき理念

発行：グループホームときめき 管理者 梅川 健司

編集：尾崎 竜馬

大阪市港区八幡屋 4-8-1

T E L 06-6571-8333

E-mail tokimeki@minatoryo.or.jp

社会福祉法人みなと寮の理念と基本方針



理念

1. 利用者一人ひとりの人格・人権を尊重し、自立支援を旨として社会福祉の増進に努めます。
2. 利用者本位の立場に立ち、常に笑顔でサービス提供し、顧客満足を追求します。
3. 「福祉の情報発信源」「地域交流の場」として地域福祉の拠点となり、社会貢献に尽くします。

基本方針

1. 積極的な情報公開を行い、透明性のある運営を行います。
2. 法令遵守に徹し、個人情報保護に努めます。
3. 職員は常に目標・ビジョンを持ち、継続的に業務改善に真摯に取り組み、自己改革・自己実現を目指します。
4. 社会福祉法人としての専門性を生かし、常に「well being」を実践しつづけます。